

西都市立都於郡小学校山田分校 「知」 の（読む、書く、コミュニケーション）能力に関する到達目標具現化の手立て（1年）

	観 点	到 達 目 標	評 価 基 準	実 態 値 %	期 待 値 %	児 童 の 到 達 度 %	重 点 事 項 ◎は今年度の強化項目	手 立 て ◎は全校共通 ○は学年共通	教 師 の 行 動 達 成 度 %
読む能力	1 読書に関すること	1 毎日、本に親しむことができる。	○ 毎日、必ず本を開いて少しは読む。	30			◎ 毎日の読書する習慣を身につける。	◎ 学級文庫を設置し、毎月20冊入れ替えを行う。 ◎ 読書貯金に読書記録を書かせる。 ◎ 毎日の家庭読書を生活ノートでチェックする。 ◎ 授業の中で音読を取り入れる。	
	2 読み取る能力に関すること	2 正しくすらすらと教科書が読める。	○ 国語の教科書のすべての単元を正しくすらすらと読むことができる。	20					
書く能力	1 文章を書く能力に関すること	1 主語、述語を明確にした文が書ける。	○ 文章中で「だが、どうした」ということがわかるように書ける。	－			◎ よく読み よく考え ていねいに書く習慣を身につける。	◎ 「よく読み よく考え ていねいに書く」ことを毎日、意識して指導する。 ○ 作文で「だが、どうした」ということを確認する。	
	2 言葉のきまりに関すること	2 くつつきの「は、を、へ」を正しく使える。	○ 「わ、お、え」と「は、を、へ」のテストで90%できる。	－				○ くつつきの「は、を、へ」を繰り返し練習させる。	
	3 漢字に関すること	3 ひらがな、カタカナを全部覚える。	○ 全ひらがな、全カタカナのテストで100%できる。	－			◎ 学年の読み書き計算ができる。	◎ ひらがな、カタカナのくりかえし練習を行い、月末にコンテストを行う。	
計 算	1 数や式に関すること	1 たし算、ひき算の立式ができる。	○ あわせて、ちがいは、などの言葉をヒントにたし算、ひき算ができる。	－				◎ 授業の中で習熟の時間を確保する。 ○ ○マス計算とコンテストを行う。 ○ あわせて、ちがいはなどの言葉を授業の中で動作化を入れて指導し、練習問題をくりかえし行う。	
	2 計算に関すること	2 一ケタどうしのたし算、ひき算ができる。	○ 一ケタどうしのたし算、ひき算がカードですらすらと全て言える。	－			◎ 勇気をもち はっきり さいごまで話す習慣を身につけさせる	○ カード計算をくりかえし行い、個別にできるまでチェックする。	
コミュニケーション能力	1 話す能力に関すること	1 「はい」とはっきりと返事ができる。	○ 名前を呼ばれたら、必ず「はい」とはっきり返事ができる。	80				◎ 「勇気をもち、はっきり さいごまで話す」ことができるまで、やり直しを行う。 ○ 授業の中で、発表している相手を見ることが意識して指導する。	
	2 聞く能力に関すること	2 話している相手を見ながら話を聞く。	○ 必ず、話している相手を見ながら話を聞いている。	60				○ ていねいな言葉遣いができないときは、その場ですぐに言いなおしをさせる。	
	3 言葉遣いに関すること	3 話す相手や書いて伝える相手によって、丁寧な言葉と普通の言葉を使い分ける。	○ きちんとした場でのていねいな言葉遣いが必ずできる。	50					
家庭との連携	1 学習姿勢の自立	1 よく読み、よく考え、ていねいに書く。	○ 自分でよく読み、よく考え、ていねいに書こうとする。	－			◎ 自立した学習習慣を身につけさせる。	○ 自学習の時間に、支援をできるだけ減らし、自分でよく読み、よく考え、ていねいに書かせる。	
	2 学習生活の自立	2 毎日の学習習慣を身につける。	○ 毎日、20分は学習することができ、生活ノートに記録しておく。	－				◎ 生活ノートを毎日つけさせる。 ◎ ノーテレピアワウの取り組みを月に1回は確認する	

※ ーは学年が始まったばかりで学習してない内容のため数値として設定していない。